

タイムカプセルにお願い 弥生のムラから時を超えて

地下に眠る遺跡は、古代の様子を現在に伝えるタイムカプセルです。平成28年熊本地震で本町の役場庁舎が全壊し、建替に伴う発掘調査で約2,000年前の弥生時代の甕棺墓群が発見されました。周辺でも同時代の集落跡などが相次いで発見されています。

弥生時代には、大陸から稲作や新しい道具が伝わり、青銅器や鉄器の登場が日本列島の生活や信仰に大きな変化をもたらしました。

本展では、遺跡から出土した弥生時代の資料をもとに、当時の暮らしを紹介します。

人面付き土器 / 秋永遺跡出土

顔や胴体が描かれた弥生時代の土器で、重弧文(じゅうこもん)と呼ばれる同心円の文様が見られます。これらは入れ墨を表現したものかもしれませんが、背中には液体を入れるための穴があり、酒などの液体を入れる土器として使用されたものと考えられます。



長頸壺 / 大辻遺跡出土

この土器は首が長く、「ソロバン」玉形の胴体に直線や重弧文が描かれた弥生時代後期のものです。通常は破片で出土することが多いですが、この土器は胴部の下半分に穴をあけて完全な形で埋められており、祭祀に使われたと考えられます。



宮園 A 遺跡



大辻遺跡



平田遺跡



宮園 A 遺跡



太公望・草蘆三顧図屏風(右隻) / 杉谷行直

杉谷行直は熊本藩の御用絵師です。古代中国の軍師を描いた屏風で、右隻は日本の弥生時代に相当する三国時代に活躍した諸葛亮の「三顧の礼」の場面です。昨年7月の水害で被災した文化財資料室から救出されました。

その他展示資料

- 宮園A遺跡出土 / 甕棺(益城町) ■ 平田遺跡出土 / 甕棺(益城町)
 - 新御堂遺跡出土 / 磨製石剣(熊本市) ■ 柳町遺跡出土 / 木製品(玉名市)
 - 幅・津留遺跡出土 / 鉄製品(南阿蘇村・高森町) ■ 二本木出土 / 破鏡(熊本市) 他
- 弥生時代の暮らしを紹介するために町外の遺跡から出土した資料も展示します。



益城町交流情報センター

〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山 236
TEL:096-287-8411 FAX:096-287-8422
<https://www.town.mashiki.lg.jp/kouryu/>

- 自家用車/益城熊本空港ICから15分
- バス/木山上町バス停、寺迫バス停から徒歩15分
- 駐車場/約300台収容(無料)
※施設正面に思いやり駐車場あり
- 駐輪場/交流情報センター北側

交通アクセス

【関連イベント】

講師 / 原田 昭一 (益城町教育委員会)

1. ギャラリートーク | 会場: 展示スペース

[日時①] 令和6年10月20日(日) 9:00-14:00

[日時②] 令和6年12月1日(日) 14:30-15:30

(12:00-13:00の間は休憩します)

2. 関連講座/魏志倭人伝を読もう! | 会場: 視聴覚室

[日時] 令和6年12月1日(日) 13:30-14:30

事前申し込み不要

